

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-2-1		事業名	精神障がい者退院促進支援事業[名称変更:精神障がい者地域生活移行支援事業]
担当	保健福祉局保健福祉部障がい福祉課 石橋 211-2936			
全体計画				
事業内容	<p>受入条件が整えば退院可能な精神障がい者を、地域生活へ移行させるための事業を行う。</p> <p>対象者の個別支援等にあたる地域移行推進員(自立支援員)及び地域体制整備コーディネータ(自立支援専門員)を配置し、精神科病院の精神保健福祉士等と連携を図りつつ退院に向けて、精神科病院内における利用対象者に対する退院への啓発活動、退院に向けた個別の支援計画の作成、院外活動(サービスタウン利用、社会復帰学級参加等)にかかる同行支援、対象者及びその家族に対する地域生活移行にかかる相談・助言、退院後の生活に関する関係諸機関との連絡・調整支援を行い精神障がい者の円滑な地域移行の促進を図る。</p>		<年度別の事業内容>	
			<p>19年度:事業実施に向けた詳細の調査及び関係機関等への説明会実施</p> <p>20年度:関係機関への説明会実施、退院促進支援協議会(仮称)等の立ち上げ、地域移行推進員等の委託</p> <p>21、22年度:事業の継続</p>	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<p>市内精神科病院への事業説明</p>		<p>事業費 6,042千円</p> <p>在院患者調査(長期入院患者状況調査)を実施し、その結果を基に医療機関に対して事業対象者推薦依頼を行った。併せて関係機関へ事業の周知を図った。</p> <p>また、退院促進支援事業の管理運営等を行う「札幌市精神障がい者地域生活移行支援協議会」を設置し、協議会において事業対象者を決定した。事業の実施にあたって、地域移行推進員等の業務を相談支援事業所に委託し、地域移行推進員に対する研修を実施した。</p> <p>事業所への委託 中央区・西区・手稲区圏域 1カ所 北区・東区圏域 1カ所 白石区・厚別区圏域 1カ所 豊平区・清田区・南区圏域 2カ所 豊平区・清田区・南区圏域は、先駆的な取組を行っていたため精神障がい者地域生活移行支援事業として開始</p>	
規模・件数等	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	<p>事業費 10,700千円</p> <p>関係機関への説明会を開催し、事業周知及び協力依頼を行う。</p> <p>退院促進支援事業の管理運営等を行う「札幌市精神障がい者地域生活移行支援協議会」を開催し、支援の進捗状況の検証を行い、新たな事業対象者の決定を行う。</p> <p>事業の実施にあたっては、地域移行推進員及びピアサポーターの業務を相談支援事業所に委託する。地域移行推進員及びピアサポーターに対しては研修を実施予定である。</p> <p>また、地域移行推進員と関係機関との連携強化を図るため、地域体制整備コーディネーターを設置し、業務を委託する予定である。併せて、退院促進支援事業を地域で支える「地域精神保健福祉連絡協議会」等の各区設置を予定している。</p> <p>事業所への委託 中央区・西区・手稲区圏域 1カ所 北区・東区圏域 1カ所 白石区・厚別区圏域 1カ所 豊平区・清田区・南区圏域 2カ所 豊平区・清田区・南区圏域は、先駆的な取組を行っていたため</p>			

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	3-2-1			事業名	精神障がい者退院促進支援事業[名称変更:精神障がい者地域生活移行支援事業]		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
事業参加病院数(累計)	-	-	5病院	25病院	34病院	36病院	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 「札幌市精神保健福祉審議会」及び「札幌市精神障がい者地域生活移行支援協議会」において、学識経験者や地域の障がい福祉の状況を熟知している相談支援事業所員などにより、本事業の充実に向けた協議を行っている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] 精神保健福祉審議会及び精神障がい者地域生活移行支援協議会への出席(相談支援事業所、精神科病院等) [情報協力] 在院患者調査(長期入院患者状況調査)の協力及び事業対象者の推薦(精神科病院) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 事業利用対象者の地域生活を支援する環境について協議する場として、各区に「地域精神保健福祉連絡協議会」を設置し、広く意見を求めていく予定である。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>障がい者や家族の地域生活に貢献している事業である。 事業の主旨である「地域生活への移行」の支援を目標に、計画通り事業利用対象者を決定し、実施に向けて体制を強化しているところである。 しかし、これまで医療機関が独自に実施してきた地域移行への支援との調整が必要であったことから、医療機関への事業利用対象者の推薦といった協力依頼には慎重を期し、結果として対象者の決定等が遅れることとなった。そのため、地域移行推進員の体制整備はされたが、本格的な支援開始にまでは至っていない状況である。</p>			<p>本事業において利用対象者の拡充のためには、精神科病院の協力が不可欠であるため、より一層の事業内容の周知及び更なる協力依頼を行う必要がある。 また、対象者に直接的に支援にあたる地域移行推進員及びピアサポーターのスキルアップを図るべく研修会を実施するとともに、関係機関との連携を強化するために、定期的に情報交換や個別処遇の検討を行える充実した体制の構築が必要となる。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>精神科病院に対し説明会などを実施することで、事業参加病院の増加による事業対象者の拡充を図る。 「札幌市精神障がい者地域生活移行支援協議会」を定期的に開催し、よりよい支援体制が図られるよう協議する。 なお、平成21年度は21年4月～21年9月、21年10月～22年3月までの2期に分けて事業を実施する予定である。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		3-2-1		事業名		精神障がい者退院促進支援事業[名称変更:精神障がい者地域生活移行支援事業]				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	500	10,000	10,000	9,500	30,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の他	0	0	0	0	0				
一般財源	500	10,000	10,000	9,500	30,000					
予算	事業費	0	10,700	10,700	-	21,400				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	5,350	5,350		10,700				
	市の債	0	0	0		0				
	その他の他	0	0	0		0				
一般財源	0	5,350	5,350		10,700					
実績	事業費	0	6,042	-	-	6,042				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	4,988			4,988				
	市の債	0	0			0				
	その他の他	0	0			0				
一般財源	0	1,054			1,054					
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					55.8%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体)										
[19年度]										
[20年度]医療機関との調整等に時間を要し計画どおりに進捗しなかった。このため、利用者を決定するに止まり、個別支援や退院訓練を行うことができなかった。										
[21年度]										